



橋本隆行さん(38)

＝北海道大学アイヌ・先住民研究センター 職員、
江別アイヌ 協会会長

一ご出身はどちらですか。
札幌生まれ札幌育ちで、
今は江別市に住んでいます。
母は静内（現日高管内
新ひだか町）出身です。
一どんなお仕事をされていますか。

以前は障がいのある人
々がパソコンを使って仕事
をするお手伝いをしていま
した。今は大学の研究に
必要なコンピューターの用
意や手入れをするほか、写
真や映像で研究の記録を
取るなど、研究のサポー
トをしています。
一音楽を作る専門学校に通
っていたとか。今の仕事に
生きていることは。

音楽作りは今も続けていま
す。もともとコンピュー
ターと音楽とカラーが大好
きなので、コンピューター
で音楽を作りながら、トン
コリというアイヌの弦楽器
を取り入れたり、ウポボと
いう歌の歌い方を意識して

曲を作ったり。STVラ
ジオの番組「アイヌ語ラジ
オ講座」では、数年前、単
語を覚えるコーナーがあっ
たんですけど、そこで私
が作った曲が流れました。
一お若いですが、江別アイ
ヌ協会会長もされていますね。

そうですね。若い人が入
りやすく、いろいろな人が
意見を言いやすい会にしたい
と思っています。
一読者にひとこと。

私はずっとコンピュー
ターや音楽が大好きで、そ
れらを楽しむ時間を大切に
してきました。そして、そ
れらから大切なことをたく
さん学びました。みなさん
にも、いま大好きなものを
大人になってもずっと大切
にし続けてほしいですね。

◇
このコーナーでは、さま
ざまな仕事をするアイヌの
人にインタビューします。

■カムイチカブカムイ
「シマフクロウ」
「コタンコロカムイ（国を
つかさどる神とも呼ばれ、
つばさを広げるとくち近く
にもなります。北海道のシ
ンボルとしても知られます
が、森林伐採やそれによる
エサの減少で、現在は大雪
山系から日高山脈、道
東など限られた場所にしか
生息しておらず、ほとんど
見る機会がない貴重な鳥
です。」

タンベエエラムマン？
「きみこれ知ってる？」の意味

普段はミスナラやカツラ
などの大木に巣を作り、
魚や昆虫、エソモモンガ
といった小動物も食べま
す。アイヌ文化ではシマフ
クロウを大切に祭ると子
宝にめぐる、村が栄
えるなどという物語も残
っており、人々は村を守っ
てくれる神として大切に
してきました。
（川上さやか・アイヌ文化
担い手育成事業第4期研
修生）

弓矢で遊ぶ子供たち。シマフクロウを見て、だれが射るか競争に



「神様をうつ」と聞いて、
不思議に思うかもしれませ
ん。動物は自分の体をあ
たえることで人間を助けます。
だから、シマフクロウ
のような、とてもえらいカ
ムイ（神様）も矢でうって
よいし、感謝のいのりとお
供えをすることで神と人
が繋がるとされています。

さて、シマフクロウに矢
が当たって「死んだ」あと
も、シマフクロウの語りは
続きます。家の人たちがフ
クロウの前でいのりをし
たり、食べ物をお供えしま
す。このときフクロウのた
ましいは、体からぬけだ
して、耳と耳の間に座っ
ているといひます。そして、
いろりの火の神や家の神、
祭壇の神と楽しくすごし、
やがて神様の窓から元の世
界へ帰ります。

このお話は、知里幸恵
がアイヌ語と日本語で書き
残した「神話」です。短い
話ですが、アイヌ文化の
要素が詰まっています。ま
るで教科書のようなです。

感謝のいのり 神と人つなぐ

「神様をうつ」と聞いて、
不思議に思うかもしれませ
ん。動物は自分の体をあ
たえることで人間を助けます。
だから、シマフクロウ
のような、とてもえらいカ
ムイ（神様）も矢でうって
よいし、感謝のいのりとお
供えをすることで神と人
が繋がるとされています。

村人を客にまねく。立派になった家と家族におどろく村人



「銀の滴降る降るまわりに
＝登別市幌別の話
（知里幸恵「アイヌ神謡集」より）

神聖な窓からシマフクロウをむかえて礼拝をする老夫婦



私は夜ふけに起き上がると「銀の滴降る
降るまわりに 金の滴降る降るまわりに」
と歌いながら、家の中を右へ左へ飛びまわ
りました。私がはばたくたびに、美しい
宝物が美しい音を立てて落ちていきます。
そして、わずかのうち家の中は神の宝物
でいっぱいになりました。それだけでなく、
家もりっぱなかがやく家に造りかえ、見事な
着物を手ばやく作って、家の中をかざりまし
た。それからどのように耳と耳の間に座
り、私が家の人たちの不運をあわれんで富
をさすけたことを夢で知らせました。
翌朝、家の人たちは目をさますと、なみだ
を流してよここび、何度も礼を言いながら、
私を神の国へ送るたくをはじめました。
あの子供が、昔まですく今は金持ちの者た
ちをお客さんによびに行くと、「びんぼう
人が何をやるやら」とバカにしてやってきま
したが、家の中も外も立派になつてのを見
て、はばかりしました。家の老人がおだ
やかに、しかし堂々と言葉かけると、みな
うちとけて、いっしょになつて私にいのり
しました。私は安心して神の国に帰り、仲間
の神たちをよんで、人間からのおり物を分
け合いながらこのたびのことを語りました。
人間たちはその後も幸せに暮らして、私も神
の国から人間を守り続けています。

おはなし
語りながら
サ
イ
ヌ
コ
ロ
聞きながら